

# 平成 28 年度 事業計画

## 1. 基本方針（理事長：長谷川 演）

全てを進化させます。

諸行無常、激動の時代の中、業界再編の波の予感もあり。

各事業のやるべきコト。やらなければならない先へ向かいチャレンジします。

デザインの力を最大限に使い、社会に対して様々なカタチでアプローチし、

私達の役割、私達 JCD にしかできないコトを突き詰めて行きます。

## 2. 主要事業計画の概要

### (1) デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

今年の JCD デザインアワード事業は 2 月 10 日から委員会を招集してスタートしている。

今年は 1 次審査方法を大きく変更し、各審査員が選んだ各作品を 4 段階あるいは 6 段階の評価に分けて投票し、BEST100 の精度を増すよう検討している。

2 次審査委員については JCD アワードの原点に立ち戻り、日本のインテリアデザインを見つめ直すという視点から世代を超えたインテリアデザイナーを中心とした方々に依頼する。デザインアワードについて言えば JCD と DSA のアワード合併という直近の課題を抱え、新しい体制を模索していく予定である。

アワードの応募期間は 4 月 1 日～5 月 23 日となり、日本のみならずこれまでの台湾、香港、中国、韓国に加え、APSDA 加盟の諸外国にも広く呼びかけて応募をつのる方針。

2 次公開審査は 6 月 25 日例年通り東京デザインセンターで行う。

今年はメディアとどう連携して JCD デザインアワードを告知していくかも大きな課題となる。

贈賞式、デザインメッセージ等については 11 月中旬をめどに今後計画を具体化していき、海外受賞者の対応についても早目の検討が必要となってくると考えている。

### (2) コミュニケーション委員会（委員長：窪田 茂）

#### 1. シンポジウム委員会（委員長 窪田茂）

SECTION58 の開催を致します。

SECTION 57 は、3 月という年度末に開催しましたが、賛助会員様への協賛の募集が、他のものと重なるタイミングでもあり、次回は夏頃の開催を目指し、無理な協賛のご依頼の無いようにしたい。次回も、インテリアデザインの世界に新たな可能性を感じられるようなシンポジウムを開催したいと考えております。

#### 2. 出版委員会（委員長 古川紳太）

SHOKANKY084 の発行を致します。

SHOKANKY083 から、全面フルカラー印刷になりましたが、非常に評判も良いので、この方針で今後も進めていきます。ただ、コスト面では厳しい状況になりがちですので、賛助様に対しては、協賛頂けるタイミングが重ならないようにしたいと思います。

内容も、皆様が興味を持って頂けるようなもの以外に、SHOKANKY083 での JCD グローバル化のような、JCD の活動の中でもなかなか皆様にお伝えしにくい内容も、合わせて記事にしていきたいと思えます。

また SHOKANKYO が、広報活動の一環として使えるように、内容の充実、発行部数の増加、様々な人が見られるような冊子に進化できるよう務めます。

### 3. 広報委員会（委員長 飯島直樹）

JCD の認知度を向上させる事を目的に活動し、HP、SNS（FACEBOOK など）、雑誌掲載などを活用し、日々の活動、各支部の活動を、全国の JCD メンバーにも伝わるような環境を整えつつ、一般の方々にも興味を持って頂けるように、更に進化をしていきたいと考えています。

また、JCD アワードの国内に限らず、アジアを中心とした世界での認知度の向上を進め、アワードの応募数の増加、アワードの信頼性の向上、アワードの雑誌への掲載などに繋がっていききたい。その結果として、会員の増強に繋がっていききたい。

#### （3）国際委員会（委員長：武石正宣）

世界的に見てもアジアのデザイン事情は激しく流動しています。各国ごとに、インテリアデザイナー団体は、国の補助や、強力な企業のバックアップ、会員の会費による運営など様々な形を取りながら、活動しています。今年の JCD のデザインアワードに対する海外からの応募も過去最高になりましたが、こういった活動が認知されて行くと、その数はまだまだ伸びると考えられますし、また海外のアワードの情報も、これから会員向けに告知をして、日本のインテリアデザインの強さをアピールして行きたいし、出て行きたい、と考えています。

今期の活動ですが、イーストギャザリング台北の実施、参加を6月に予定しています。詳細が決まりましたら JCD 会員に参加を含めました告知を致します。

また APSDA のアデレード（オーストラリア）への参加を予定しています。詳細が決まりましたら JCD 会員に参加を含めました告知を致します。

#### （4）財務委員会（委員長：大道寺祥司）

28 年度予算は、事業活動収入 3,843 万円、事業活動支出 3,709 万円にて、134 万円の黒字収支計画となります。

内訳としては、本部 101 万円の黒字、9 支部合計で 33 万円の黒字の収支予算です。

事業活動収入において、会費収入は会員数が若干減少したので 27 年度予算より 28 万減。事業収入は 27 年度予算に比べ総会収入が東京開催ですので地方開催時の各種イベント開催がなく参加費等減で 45 万減、研究会収入が 25 万減、逆に収入増はシ

ンポジウムや機関誌の協賛・広告料が 30 万円増、研修会活性化で 15 万円増、他事業と相殺して全体で昨年度予算より 53 万円減の予算としています。

事業活動支出においては、昨年度予算に比べ増額が大きいところではデザインアワード実行（設計奨励）費が 76 万円増、製本名簿刊行のため名簿刊行費が 35 万円増、関東支部 HP の大幅見直しを含み事業通信費が 21.5 万円増、APSDA 会議等で国際交流費が 20 万円増、soda 活動費 13 万円増です。逆に減額は総会費が関東開催のため 65 万円減、講習会費が 33 万円減です。他事業と合わせた事業活動支出では昨年度予算より合計 46 万円増と事業活動収入が 53 万円減にも関わらず増予算を組みましたのでメリハリを効かした事業の活性化をよろしくお願いいたします。

年々減少の一途でありました会員数の減も、賛助会員については今年度は昨年度と変わりませんでした。正会員は昨年度は歯止めが一端かかりましたが今年度はまた若干減少し、会費収入が昨年度予算より 28 万円減の予算になりました。会費が事業活動の主たる源泉ですので、更なる会員増強を図ることで収入を増やさないかぎりこれから大きな事業は望めません。会員増のためには留保金の活用方法などを考えていく必要があるかと思えます。皆さんで知恵を絞り会員増強を図っていきましょう。

#### (5) 業務委員会（委員長：星 明臣）

##### 1. Soda 委員会（委員長：新藤 力）

###### 【Soda 活動充実にむけた提案】

JCD の公共性・公益性を高める目的でスタートした「Soda」は 13 年目を迎えました。各地の小・中学校で実施されている出前授業には新しいスタイルが次々と登場するようになり、「Soda」も更なる深耕をめざす時期に来たと考えます。

###### ◆ 最近の「出前授業・新たな取り組み」事例

- ・漫才を子供が演じる「笑育授業」（＝大阪府・池田市）
- ・プロとの交流「ミート・ザ・クリエーターズ」（＝東京都・渋谷区）
- ・女子大学院生の「リケジョ育成出張授業」（＝宮城県・仙台市）
- ・起業家教育の一環「会社設立体験授業」（＝東京都・青梅市）
- ・木のおもちゃに触れ自然と親しむ「木育授業」（＝東京おもちゃ美術館）
- ・空き家を活用した「子育ての街づくり」（＝東京都・豊島区）

JCD 理念の実現をめざす「Soda」では、下記の取り組みを新たに加えることで、今後の活動を充実させたくご提示いたします。

- 1、参加スタッフの幅を広げやすくするため、業務委員会から独立した組織体となる方法がないか、を協議する
- 2、対外的な発信力を高めことを目的に「Soda・JCD 賞」を創設し、作品の公募方法や評価方法、実施の可能性について協議すると共に、他協会・団体との共同推進についても検討する

- 3、ワークショップに出向く地域を、いずれは海外の日本人学校にも広げるべく、関係機関からの情報収集をスタートさせる
- 4、活動内容の汎用性を増すため、「Soda」専用の出入金口座をつくり、公的機関、個人、からの協賛・寄付を受けやすくする手法を専門家と協議する
- 5、現在計画中の「冊子」や今後予定する「書籍」は、JCD活動のアーカイブとして関係方面へ配布すると同時に、販売も視野に入れて企画する
- 6、「Soda」活動を支えていただいた賛助会員企業に謝意を示すべく、JCDの表彰規定に則った表彰を検討する

◆ 以上、委員会が協議・検討している事項を段階的に進めながら「Soda」をパワーアップしてまいります。ご指導、ご承認、ご支援、よろしく願いいたします。

## 2. 賛助委員会（委員長：森川 一）

今年度も引き続き正会員と賛助会員のコミュニケーションを深める施策を立案、推進いたします。

具体的活動としては

### ①各支部単位での相互コミュニケーション実施のためのサポート

最新情報での各賛助会員の本部・各支部の連絡者名簿のメンテナンスを随時実施します。

### ②「JCD Product of the year 2017」の実施。

10年の節目が終了し、会員以外の参加も視野にいれ、更なる認知度UPを図ります。

過去10回実施して課題となった

- 引き続き正会員の投票率の向上
- 新しい賛助会員の積極参加
- 会員以外の参加の検討（新規提案）

を図るために本年度の課題も踏まえ、各支部長様からもアイデアを頂きながら推進したいと考えます。

### ③賛助会員拡大の為の諸方策の立案と実施サポート

正会員様と賛助会員双方のメリットがでるようお互いの交流を増やし情報交換による紹介、勧誘の更なる推進を両会員で積極的に行うことにより会員拡大へつなぎたいと思います。入会実績からも正会員様からの日頃の仕事の繋がりの勧誘、情報発信のお力添えが大きく効果を上げておりますので引き続きお願いしたいと思います。

これらの計画を更に拡大・充実するために、各支部賛助委員会を活性化していただき、支部単位での更なる交流を深めていただきたいと思います。

また、これらの活動を通じ、正会員・賛助会員の双方のメリットを明確化さらに拡充し、新規正会員・賛助会員の拡大につなげていきたいと考えます。

本年度も前期同様の考え方を継続して行いたいと存じますので正会員・賛助会員の皆様

のご協力をよろしくお願い致します。

### 3. 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

当委員会の主務は、当協会 特別功労賞表彰規程等に則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」及び「名誉会員・評議員」「顧問・参与」の役職候補の推薦を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議する。結果、該当する候補者を理事会に推挙します。肝要なことは、誤謬なき、適正な推挙を心がけること。

委員構成は、当協会表彰規程に則り、副理事長 1 名、専務理事を含む理事・評議員並びに監事など役員の中から 7 名前後の方を選任します。（任期 2 年：平成 28～29 年度）ご協力願います。

JCD への社会的認識・地位向上の一環として「大臣表彰」への手順などを整備する。

### （6）支部長会議（議長：加藤博正）

前年度までは、内部的な議題であったが、今年度の支部長会議はこのところの JCD のテーマである、売れる商環境デザインに付いて論議したい。

今まで避けてきたテーマであるが、クライアントのメリットである売れる商環境デザインを考えて行かなければならない。

商環境デザインとマーチャンダイジング、売り方どれが原因か難しい判断ではあるが、商環境デザイナーとしていかにあるべきかを論議する。

その提案を理事会に提出する。

### （7）支部事業

#### 北海道支部（支部長：高橋 恵）

今年度の活動方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえる活動・仲間づくり」

活動内容

2016 年 4 月 14 日（木）北海道支部総会 ・ ・ 収支報告、活動計画、予算案承認、懇親会 等

2016 年 6 月 1 日（水） 運営会議セミナー ・ ・ 賛助会員企業によるセミナー、工場見学計画

2016 年 8 月 3 日（水） 運営会議 ・ ・ 工場見学の準備、SDW 計画 等

2016 年 9 月 7 日（水） 運営会議 ・ ・ SDW 計画 等

2016 年 9 月 下旬 工場見学

2016 年 10 月 5 日（水） 運営会議 ・ ・ SDW 計画 等

2016 年 10 月下旬 SAPPORO DESIGN WEEK

2016 年 11 月 2 日（水） 運営会議 ・ ・ SDW の報告、soda 準備、Xmas 準備 等

2016 年 12 月上旬 soda 桑園小学校

2016年12月7日(水) 運営会議  
2016年12月中旬 Design Xmas Party  
2017年2月1日(水) 運営会議 ・・来期の事業計画等  
2017年2月下旬 鍋塾  
2017年3月1日(水) 運営会議 ・・収支状況の報告、支部総会計画等

東北支部(支部長:阿部秀夫)

H28/06/中旬:第一回東北支部幹部会議  
H28/07/中旬:東北支部通常総会を開催予定  
・地区長会議  
・通常総会  
・賛助会企業アピール  
・講師によるディスカッション  
・震災後の復興状況確認  
・懇親会  
H28/10/中旬:支部正会員デザイン発表会開催予定  
H28/12/中旬:支部忘年会開催予定  
H29/02/中旬:支部賀詞交換会開催予定

JCD 東北支部 平成28年度各地区事業計画

青森地区

支部に準じて活動予定。

岩手地区

活気ある協会活動をすべく、新規会員の開拓に力を入れていきたいと考えています。  
地区の枠を超え、他地区との情報や意見交換等の交流が出来ればと思います。

秋田地区

支部に準じて活動予定。

宮城地区

若手デザイナーの発掘に充填を置き、新鮮な風を取込みたいと考えております。

山形地区

JCD活動について若手デザイナーへの啓蒙活動を副地区長共やろうと考えております。

福島地区

休眠会員の復活と新規会員の開拓、特に若い人材の発掘に努力したいと思います。福島地区に固視せず、宮城・山形の会員の方々、賛助会員の方々、サブスタッフを含め交流できればと思います。結果、互いのクオリティを高めあえればと思います。

関東支部(支部長:小田 秀樹)

\*関東支部の広報と各委員会活動の活性化

今期は、関東支部のHPと機関誌の再構築を行ない、広報活動を活発にして情報を速やかに

会員に提供する。各委員会の活動がマンネリ化に成らない様に、新しい委員を集い、委員会活動の活性化を図る。

イベント参加者には、一般参加者も含め JCD の活動をアピールして会員数の増強を図る。

■品川正之副支部長、新藤力副支部長

■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長

「トクトーク」の開催は2ヶ月に1度のペースで開催し、従来のスタイルに囚われる事無く、新たな取り組みを提案していくつもりでおります。事業計画は、前年度の報告を教習する事となりますが、会場は JCD 本部を中心に、賛助会員様のショールーム・学校施設等、今迄とは少し違う視点での情報交換の場としてセミナーを組んでいきます。

- 1) 5月「Soda 委員長 新藤氏に軍艦島シンポジウム」(JCD 本部)
- 2) 7月「賛助会員様のショールームにて新商品公開説明会」(賛助会員様会場)
- 3) 9月「Soda 委員会 活動報告」(JCD 本部)
- 4) 11月「賛助会員様から近況報告」(JCD 本部)
- 5) 1月「2016年デザインアワード受賞者からのデザインシンポジウム」(特設会場)
- 6) 3月「新鋭デザイナーによるデザインシンポジウム」(JCD 本部)

■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、伊藤淳平副委員長  
原則、月1回の委員会を開催し、下記掲載の活動目標の推進を図る。

- 1) 関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。
- 2) 賛助会員のビジネスに寄与できるイベントを企画する。
- 3) 賛助会員の意見を集約し、意見具申する。
- 4) 交流を促進するための親睦イベントを企画する。
- 5) 関東支部の他委員会と連携して、支部のイベントのサポートにあたる。

■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

※関東支部機関誌は年3回発刊予定

- 1) 1回目(7月中発刊予定)総会特集・賛助会員活動報告・関東支部組織図
- 2) 2回目(秋号11月中発刊予定)トクトークの報告・会員の近況・クラブ活動報告・夏のパーティー報告・あのことろ～JCDの重鎮・Soda活動報告・賛助会員活動報告・新人、支部会員紹介・賛助会員広告
- 3) 3回目(冬3月発刊予定)トクトークの報告・会員の近況・クラブ活動報告・夏のパーティー報告・あのことろ～JCDの重鎮・Soda活動報告・賛助会員活動報告・新人、支部会員紹介・賛助会員広告

※賛助会員広告枠は、1枠A7サイズ(縦74ミリ/横105ミリ)¥5,000円にて、特集ページを作成、各ページ下部に掲載を予定

※本年度より広告募集活動にも重点を置き、収入も考慮する(執筆者等への寸志の支払い等も将来できたらと思う)、会員の別事業(飲食経営)等や、将来賛助会員になりそうな外部企業にも拡大勧誘(食品メーカー等/広告枠費用は賛助会員の2~3倍を提案)

■メディア委員会：吉田淳一委員長、水谷晶人副委員長、中村茂雄委員

- 1) 支部 HP を一新する事で、正会員・支部会員, 支部賛助会員との情報の共有化をより活性化する
- 2) 対外的なインフォメーションとして、TOP ページに正会員作品をスライドローテーションとして流す。
- 3) 昨年度作成した Face Book を TOP ページに貼付け、イベント情報は各委員長発信のもと自動更新化する。
- 4) ブログやメールマガジンの役割を徐々に Face Book の活用により、変換してゆく
- 5) 正会員の HP とのリンク数をさらに増やし、ネットワークの運動性を高める。

■交流委員会：折原美紀委員長、窪田茂副委員長、雲野一鮮副委員長

夏のパーティーは今回も「日本で活躍する外国人デザイナーに聞く VOL2」と称し、前回ご参加いただけなかった「エマニュエル・ムホー」氏などをお迎えして、今度は女性デザイナーのお話を伺えればと企画を考えています。

冬のパーティーは、他団体との合同開催という企画も上がっており、内容を詰めて進めていきます。当委員会は、パーティー等の交流を通じて、さらなる会員増強に寄与したいと考えております。

■特別委員会：星明臣委員長

当委員会は、研修旅行の企画立案、実施が主務です。現在提案頂いておりますのは、上海、台湾、沖縄、飛騨高山等ですが、候補地や要望等を皆様お寄せ下さい（もちろん費用の面も考慮して・・・）

今年度は、季節的なタイミングを外さない様に、9月～10月には実施出来ればと考えております。

中部支部（支部長：不破淳二）

基本方針：

正会員の減少を重く受け止め、新規会員の獲得について実行協議を行う。

現在どのデザイン団体にも加入していない、中部地区で活動・活躍している若手デザイナーの発掘と会員に推挙できる力量を知るべく、中部デザインアワードを開催。

アワードをきっかけとして作品展示や表彰式パーティなど交流を図り様々な JCD の活動は社会的にもメリットの多い点を理解していただき正会員の獲得を目指す。

活動計画：

- ・ 各種運営活動を実施する支部会議の定例開催（月毎を原則）
- ・ 本部総会および理事会出席（支部より希望出席者）
- ・ デザイン・トリプレックス 13（JCD/SDA/DSA）実行委員会会議
- ・ 中部デザイン団体協議会（CCDO）理事会、各種委員会会議

2016

5月 ●本部総会

- CCDO ナイトトーク研修ツアー参加
- 6月 ○JCD 中部支部総会
- 8月 ○JCD 中部支部ビアパーティ (総会報告及び収支報告)
- 10月 ○SODA 活動 (初回) 開催予定
- 11月 ○JCD 中部アワードの開催予定 (応募活動)

2017

- 1月 ○中部支部、忘年会 (2016.12月)、新年会予定
- 2月 ○JCD 中部デザインアワード  
展覧会、贈賞式 : 懇親パーティ等
- デザイン・トリプレックス 13 開催  
受賞作品展示 : 講演シンポジウム : 懇親パーティ等
- 北陸デザインフォーラム  
受賞作品展示 : 講演シンポジウム : 懇親パーティ等

#### 関西支部 (支部長:長町志穂)

##### **【組織検討委員会】** 会員増強の強化策の検討

正会員増強の為の策を検討。

昨年度に引き続き会員増強策を検討します。(ジュニア・シニア等)

運営チーム: 東 潤一郎、金沢明彦

##### **【研究委員会】** デザインによる社会貢献 / 会員のスキルアップ

- ・SODA 事業 (28年度は12月22日(日)に決定。於:住まい情報センター)
- ・サロン&セミナーの実施 (大阪デザインサロンとの連携、JCD デザインサロンの継続)

運営チーム: 中村裕輔、山田悦央

##### **【広報委員会】** 会員相互における情報の共有化 / JCD の見える化

年1回のJCD・KANSAIの発

Facebookのさらなる活用 HPの強化 他 JCDの広報活動や情報アーカイブづくり全般の実施。

運営チーム: 大東俊也、岡島 昇

##### **【交流委員会】** 会員の親睦を図る交流会開催

支部総会および 夏のピヤパーティー及び年末のクリスマスパーティーの開催

運営チーム: 新体制で決定

##### **【新・賛助委員会】** 賛助会員との相互協力関係の構築

新体制での方向性検討

運営チーム: 山田悦央

## 【デザイン団体連携委員会】各デザイン団体との関係強化

各デザイン団体との連携事業を継続実施

「大阪デザインサロン」「関西学生シンポジウム」「日本の空間デザイン展」

運営チーム：新体制で決定

## 中国支部（支部長：深田勝哉）

28年度の中国支部活動方針は「地域に必要とされるデザイン」をテーマに活動します。

会員活動の環境作り、賛助会員と多くの会員が参加できるようにしたいと考えています。中心となっている広島、岡山だけでなく中国5県全県での活動を引きつづき強化し、各地域とのかかわりを明確にし、地域にとってなくてはならない団体としてあり続けたいと考えています。そして、会員相互のコミュニケーションまた若い新会員を増やし、活気ある支部創りを目標にしています。

### 28年度事業内容

#### ○組織改革

今まで活動の中心となっている会員と、次の世代を担っていく若い会員で新たな組織を作り、若い会員が活動しやすい環境づくりを目指した組織を再構築したいと考えています。

#### ○地域活動

広島で続けてきているデザインイベント「広島デザインデイズ」をさらにバージョンアップし、各地元との交流、そして岡山・広島を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学、専門学校、地元商店連合会など参加者も増やし、今後さらにコミュニケーションを図りながら地元根付いたデザイン活動にしたいと考えます。

#### ○例会活動

本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動予定打のち合わせなどに加え、毎回新しいプログラムを検討しデザインを中心としたスタディーセッションをしたいと思っています。そして、デザインの考え方をぶつけ合う場として盛り上げればと考えています。

#### ○親睦活動

中国支部内での会員相互の親睦を目的とし、イベントの計画をします。

通年---例会後、各地での懇親会、デザインセミナー、賛助会員によるミニセミナー。

秋---デザインツアー、国内外を問わず新しいデザインに触れる旅を計画します。

冬---他地域のデザイナーとの交流会「鍋塾」の計画。

### スケジュール

4月 第1回 支部例会 28年度事業計画発表、委員会編成

5月 28年度定時総会

広島デザインデイズ 2016 第一回準備委員会

6月 第2回 中国支部例会（総会報告）

広島デザインデイズ 2016 第二回準備委員会

- 7月 広島デザインデイズ 2016 第三回準備委員会
- 8月 第3回 JCD中国支部例会 中国支部 ビアパーティー  
広島デザインデイズ 2016 第四回準備委員会
- 9月 広島デザインデイズ 2016 第五回準備委員会
- 10月 第4回 JCD中国支部例会（他支部との合同例会 or ツアーを検討中）
- 11月 広島デザインデイズ 2016 第六回準備委員会
- 12月 広島デザインデイズ 2016 本番  
中国支部大忘年会&クリスマスパーティー
- 2月 第5回 JCD中国支部例会 & デザイナー交流会「鍋塾」開催

#### 四国支部（支部長：香川眞二）

- ①JCD 四国としての役目とは！社会との関わりを考える。
- ②27年度3月に行った4団体合同のデザインフュージョンを次年度へも続けていただけるよう、活動を進めていく。又、他団体への働きかけも行っていき、活躍と JCD の認知の場を広げていくよう努める。
- ③他団体との合同イベントを通じ交流を強める。---香川県デザイン協会、SDA、JIA等
- ④瀬戸内国際芸術祭が行われる年。どう関わられるか思案する。
- ⑤前年度初めての四国支部SODA事業を行った。平成28年度に向け新たなSODA事業に取り組む。
- ⑥現会員の意識UP及び、会員増員のための取り組みを行う。

#### 【四国支部活動内容】

- ・4月…例会、花見懇談会、会員レポート ← 瀬戸内国際芸術祭春期開催
- ・5月…委員長会、総会（関東支部にて）
- ・6月…例会、会員レポート
- ・7月…委員長会、SODA 事業準備委員長会 ← 瀬戸内国際芸術祭夏期開催
- ・8月…例会、松山市内において愛媛会員との交流例会、会員レポート  
※他団体との交流会予定
- ・9月…委員長会、SODA 事業準備委員長会 委員長会、
- ・10月…例会（他支部との合同例会）、  
研修交流会予定：香港・マカオ（検討中）⇒中国支部  
←瀬戸内国際芸術祭秋期開催  
ミラノサローネレポート
- ・11月…委員長会、SODA 事業開催（候補：未定）
- ・12月…例会（忘年会）、会員レポート  
他団体との交流会予定（SDA さん検討中）
- ・1月…委員長会（新年会）、他県（徳島・高知）において新会員との交流会  
専門学校穴吹デザインカレッジ2016年デザイン展後援
- ・2月…例会、会員レポート、デザインアワードパネル開催（案）
- ・3月…委員長会

#### 九州支部（支部長：原田啓二）

- (1) 4月～毎月 月例会開催
- (2) 5月 FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加
- (3) 6月 支部レクリエーション開催：有田焼製作体験
- (4) 8月 デザインスクールキャラバン委員会参加
- (5) 10月 デザインスクールキャラバン開催
- (6) 11月 JCD デザインアワード展開催（SDA 共同開催）
- (7) 12月 九州支部忘年会
- (8) 1月 九州支部新年会

九州支部は、NPO 法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加は続けながら社会貢献・勉強会など継続してまいります。又、更なる会員増強のためにも、魅力ある九州支部づくりをテーマに会議を重ね、取り組んで行く所存です。

#### 沖縄支部（支部長：山里健市）

##### ■28年度の活動について

- 1) 前年同様、JCD とは？ をテーマに、認知度 UP の為、コミュニケーションイベントの充実、そして SODA 事業のブラッシュアップ、そこから沢山の学校に呼んで頂けるような体制づくりに引き続き取り組んでいきたいと思えます。
- 2) 継続事項として正会員・賛助会員の拡大に努めたいと思えます。
- 3) 次年度の（仮）定時総会 in 沖縄に向け、実行委員会を発足し準備してまいります。

##### ■主な活動計画

- 1) 4～6月
  - ・支部定例会の開催（4月・6月）
  - ・異業種交流、夕涼みBBQの計画
  - ・総会に向け、実行委員会発足
- 2) 7～9月
  - ・支部定例会の開催（8月）
  - ・夕涼みBBQの開催・・・（固定の交流イベント）
  - ・SODA（ワークショップ）の計画
- 3) 10～12月
  - ・支部定例会の開催（10月・12月）
  - ・SODA（ワークショップ）の開催。
  - ・トータルリビングショーへの共同参加  
（前年同様、イベント来場者の子供達と お店のミニチュア模型作り）
  - ・JCD 沖縄 忘年会「モノズクリガンバッタ 2016」開催  
（建築・インテリア・グラフィック。各デザインに関係する個人・他団体と1年を振り返って。）
- 4) 1～3月
  - ・支部定例会の開催（2月）
  - ・SODA（ワークショップ）の開催。

### 3. その他の会務に関する件

#### (1) 功労賞表彰

平成 28 年度功労賞を以下の方に贈呈することを決定した。

##### 特別功労賞受賞者

阿部 秀夫 会員

故 芝田 良治 会員

白井 進 会員

衣笠 和宏 会員

寒川 徹司 会員

##### 支部功労賞受賞者

大国護 益大 会員（中部支部）

高桑 秀幸 氏（中部支部）

#### (2) 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

公益社団法人商業施設技術団体連合会や空間デザイン機構への運営参加、新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通し積極的かつ実のある活動を目指す。